

授業 科目名	【G】	情報社会論	区 分 選 択	開講年次	【G】2	単位数	【G】2	
	【H】	情報社会論			【H】2		【H】2	
	【I】	情報社会論			【I】2		【I】2	
科目区分	専門科目:【G・H・I】教科及び教科の指導法に関する科目(---・情報)							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための(---・情報必修)科目 【H】 教員の免許状取得のための(---・情報必修)科目 【I】 教員の免許状取得のための(---・情報必修)科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項:「情報社会・情報倫理」(高一種免情報)							
サブ タイトル	高度情報社会の課題を考える				担当者	渡邊 美樹		
授業概要	【概要】	ICT技術を前提とした高度情報社会における諸問題を中心に考察する。授業では、最先端技術をめぐる社会的問題をはじめ、今後予測される状況などについて講義を行います。						
	【到達目標】	情報化の進展がもたらす利便性と問題点を理解し、最近の技術的变化を俯瞰しながら、今後の高度情報社会に対応するための思考力を養います。						
履修条件	特になし。							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関	情報関連科目全般。							
教科書	授業中に、適宜、紹介します。							
参考書	授業中に、適宜、紹介します。							
評価方法	授業への参加態度30%、学習到達度の確認70%							
フィードバック 方法	質問については解答を、コメントシートについては解説を行います。							
評価基準	授業内容について、よく理解している場合は、その程度に応じてSまたはAを、理解が一部不十分な場合にはBまたはCを、また、理解が不十分な場合には、その程度に応じてDまたはEと評価します。なお、最終授業への欠席など評価不能の場合にはFとなります。							

授業 科目名	【G】	情報社会論	区	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【H】	情報社会論	分		【H】2		【H】2
	【I】	情報社会論	選		【I】2		【I】2
授業回数	授業内容						
1	イントロダクション(講義の進め方など), 高度情報社会における課題について 予習: シラバスで授業内容(テーマ)の確認をすること(80分程度) 復習: シラバスの確認など(110分程度)						
2	ITからICTへ 予習: ITとICTについて調べておくこと(110分程度) 復習: 資料の再読など(80分程度)						
3	デジタルプラットフォーム 予習: プラットフォームについて調べておくこと(110分程度) 復習: 資料の再読など(80分程度)						
4	デジタルデバインド 予習: デジタルデバインドについて調べておくこと(110分程度) 復習: 資料の再読など(80分程度)						
5	放送と通信 予習: 地デジについて調べておくこと(110分程度) 復習: 資料の再読など(80分程度)						
6	サイバーセキュリティの脅威 予習: サイバー犯罪について調べておくこと(110分程度) 復習: 資料の再読など(80分程度)						
7	ブロードバンドインフラの機能 予習: ブロードバンドとは何か調べておくこと(110分程度) 復習: 資料の再読など(80分程度)						
8	トレーサビリティ 予習: トレーサビリティについて調べておくこと(110分程度) 復習: 資料の再読など(80分程度)						
9	広告コミュニケーション 予習: 広告コミュニケーションについて調べておくこと(110分程度) 復習: 資料の再読など(80分程度)						
10	デジタルデータの利点・問題点 予習: 利点と問題点について調べておくこと(110分程度) 復習: 資料の再読など(80分程度)						
11	5Gのもたらす社会 予習: 5Gについて調べておくこと(110分程度) 復習: 資料の再読など(80分程度)						
12	生成AIのもたらす社会 予習: 生成AIについて調べておくこと(110分程度) 復習: 資料の再読など(80分程度)						
13	インターネット上の規制 予習: 規制する法について調べておくこと(110分程度) 復習: 資料の再読など(80分程度)						
14	授業内容の確認 予習: 第1～13回の授業の確認をしておくこと(120分程度) 復習: 資料の再読など(70分程度)						
15	学習到達度の確認および総括など 予習: 第1～第14回の授業の復習(120分程度) 復習: 総括について復習のこと(70分程度)						
その他	情報環境の変化等により, シラバスの内容を入れ替えることがある。						